

クールトップ® #5000 セラミック

「クールトップ#5000セラミック」は防水材の遮熱及び保護を目的に開発した塗料で、建物内部の温度上昇を緩和することができる、環境に優しい省エネルギー型の塗料です。

特 長

① 環境配慮形塗料

特殊変性アクリルエマルジョンを使用し、安全性の高い環境配慮形水系塗料です。

② 優れた遮熱

赤外線反射性能に優れた顔料と、セラミックバルーンの相乗効果により、優れた遮熱を発揮します。

③ 防水層の保護

遮熱効果により防水層の表面温度を低下させ、熱によるアスファルトの軟化、加硫ゴムシートジョイントの伸び等を低減します。（夏場、当社従来形の塗料と比較して、10℃以上低下。）

各種防水層の熱によるふくれを大幅に軽減でき、防水層の保護によるメンテナンスサイクルの長期化に寄与します。

④ 優れた塗膜性能

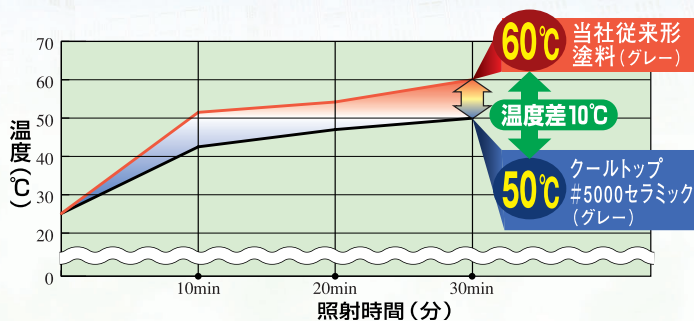
防水層への付着力が強く、また、弾性塗膜であるため、下地の伸縮に追随します。骨材入りの厚膜設計のため、軽歩行が可能です。

⑤ 優れた塗装作業性

塗装作業性に優れ、エマルジョン塗料のため、臭気も少なく安全に塗装できます。

照射試験

●クールトップ#5000セラミック塗装面に昼光ランプの光を照射して、素材裏面温度の経時変化を測定した。クールトップ#5000セラミックは一般塗料の同色に比べ温度差10℃の遮熱効果を示したものの



（注）気温が低い場合（10℃以下）、遮熱効果は発揮されません。

用 途

ゴムシート・ゴムアスシート・砂付アスファルト・ウレタン防水層・ポリマーセメント系塗膜防水材の
遮熱・保護・美装

標準塗装仕様

工程	素地	ゴムシート	ゴムアスシート	砂付アスファルト	ウレタン防水層	ポリマーセメント系塗膜防水材
素地調整	・ゴミ、埃、油分等の付着物を水洗浄にて除去後、十分に乾燥させる。					
プライマー	—	・アスファルトシーラー塗布 0.1～0.2kg/㎡×1回 ※砂付アスファルトの場合は、砂の形状により塗付量が多くなる事があります。				—
クールトップ#5000セラミック各種		0.4～0.6kg/㎡×2回	0.4～0.6kg/㎡×2回	0.6～0.8kg/㎡×2回	0.4～0.6kg/㎡×2回	0.4～0.6kg/㎡×2回
摘 要	塗装間隔:3時間以上(23℃) 最終養生:24時間以上 塗装用具:ハケ、ローラー、スプレー(モルタルガン、リシンガン等)					

※カラーゴムシートへの塗装は、しないでください。※塩ビシートへの塗装は、別途御相談ください。

※ウレタン防水層にアスファルトシーラーを塗布する場合は、事前にテスト塗り等を行い状態をご確認の上、クールトップ#5000セラミックを塗布してください。

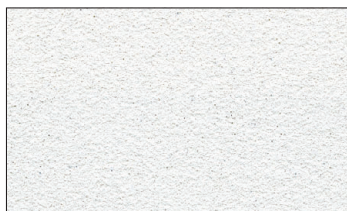
荷 姿

品 名	荷 姿	内 容
クールトップ#5000セラミック	20kg/缶	変性アクリルエマルジョン系塗料
アスファルトシーラー	16kg/缶	湿気硬化型ウレタン樹脂系塗料(溶剤系)

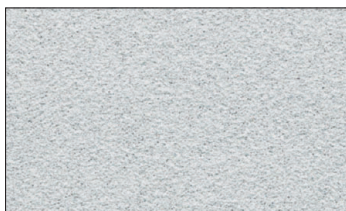


スズカファイブ

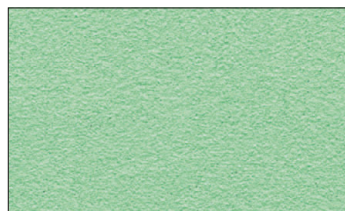
標準色



ホワイト



グレー



グリーン

(注) 下記色見本は印刷のため、現物との多少の色差はご容赦ください。

塗装上の注意事項

＜塗装の前に＞

- 気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 強風時、降雨、降雪結露が予想される時は、塗装を避けてください。

＜素地、下地の処理＞

- 塗装前に防水層の状態をよく調べ、破断、ふくれ、剥離、減耗など劣化の著しい場合には、防水層自体の改修を行ってください。
- 被塗面のゴミ、埃、油分等を十分に除去してください。
- 下地・下塗りが十分乾燥していることを確認してください。
- ノンタールウレタン防水材上に使用する場合は、必ず「アスファルトシーラー」をプライマーとして使用してください。また、事前にテスト塗装等を行い、状態をご確認の上、「クールトップ#5000セラミック」を塗装してください。
- タールウレタン防水材上への塗装はしないでください。「アスファルトシーラー」でも、ブリードする場合があります。
- 「アスファルトシーラー」は、かくはんし、そのまま塗装してください。塗装後十分に乾燥させ、「クールトップ#5000セラミック」を塗装してください。なお、「アスファルトシーラー」の塗装具の洗浄には、「ススカシンナー#2000」をご使用ください。

＜塗装作業について＞

- 「クールトップ#5000セラミック」は水希釈なしで使用してください。
- 「クールトップ#5000セラミック」を、やむをえず水で希釈する場合は、清水3%以下としてください。重質の骨材が配合されておりますので、速やかに使いぎってください。
- 「クールトップ#5000セラミック」を水希釈して使用しますと、次のような問題が起こりやすくなります。
 - ・粘度低下により、缶内で骨材沈降を生ずる。
 - ・低粘度化のため塗膜厚が所定よりも薄くなる。
 - ・塗膜内で顔料の分離や骨材の沈降が起こり、塗膜の表面状態が、滑らかになり凸凹感がなくなったり、色むらを生じたりする。
 - ・塗膜表面に樹脂が浮き、表面はベタつき、下層部に骨材が沈降する。
 - ・塗膜層内分離を起こすため、塗膜組織が不均一になり接着力が低下する。また、乾燥しにくくなり、残存水分が太陽熱により気化し、フクレの原因となる。
- 塗料は、均一になるまでかくはんしてからご使用ください。また泡をまき込まないようにご注意ください。
- 「クールトップ#5000セラミック」の塗布量は、標準塗装仕様に従ってください。一度に厚く塗ると乾燥過程でクラックを生じたり、乾燥時間が長くなり、夜露等で塗膜不良が生じやすくなります。
- 「クールトップ#5000セラミック」をローラー塗装する場合は、ローラーに塗料を十分に馴染ませてから塗装してください。ローラーになじませずに塗装すると、骨材のかたよりによって、仕上りむらを生じます。
- 砂付ルーフィング等の凹凸の激しい下地で「クールトップ#5000セラミック」を塗布する場合、薄く塗り過ぎると、隠蔽が悪くなったり、過度に厚く塗ると、クラックが生じることがありますので、規定量を均一に塗りつけてください。
- 初めての防水材に塗装するときは、必ず施工前に予備テストを行い、異常のないことを確かめてからご使用ください。
- 塗料は均一に塗り、たれ・溜まり・塗り残しのないようにしてください。特にコーナー部・ジョイント部・コの字の凹部には、刷毛等で入念に塗りつけてください。但し、厚く付けないようにしてください。コーナー部等は、たれ・溜まりが起こりやすく、部分的に厚くなり、クラック・乾燥不良が起こることがあります。

＜塗装のあとで＞

- 塗装具は、はけ、ローラー、スプレーガン等が使えますが、使用後は乾かないうちに洗ってください。
- 使いかけの材料は、必ず密封し、漏れたりしないように注意し、こぼれたものは速やかに拭き取ってください。

＜材料の保管について＞

- 「アスファルトシーラー」は湿気硬化型の溶剤系ですから、火気に注意し、保管は湿気の混入を避けてください。開缶後は速やかに使いぎってください。

＜その他＞

- 塗装完了後、初期に急激な降雨にあった場合、ドレン部等に泡が発生することがありますが、塗膜の異常によるものではありません。
- 弊社仕様書以外の仕様によるクレームには一切責任を負いません。
- カタログに記載されていない素地や塗装仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

取扱上の注意事項

○溶剤系塗料の場合

- 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
- 吸入すると有機溶剤中毒をおこす恐れがありますから、換気をよくし、蒸発・スプレーミストを吸い込まないよう必ず保護具を着用してください。
- 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。
 - ・有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・長そでの作業衣・えり巻タオル・保護手袋・前掛けなど。
- 臭いは食料品・飲食物・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざけるまたは養生するなど、十分に注意してください。
- 容器から取り出すときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器または粉末消火器を用い初期消火をしてください。

○水系塗料の場合

- 取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
 - ・防塵マスク・頭巾・保護めがね・長そでの作業衣・えり巻タオル・保護手袋・前掛けなど。
- 容器から取り出すときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂等を散布したのち処理してください。

○溶剤系塗料・水系塗料の共通注意事項

- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気、臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合は、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行なってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記場所の保管は避けてください。
 - ・雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など。
- 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要ときには、製品安全データシート(MSDS)をご参照してください。



スズカファイン株式会社

営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1

☎059-397-2187 FAX059-397-6191
☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店

53